

新型コロナワクチン接種後の乳がん検診について

新型コロナワクチン接種後、1～2割の方に注射した側の脇の下のリンパ節が腫れることがあるため、乳がん検診の結果に影響を与える場合があります。乳癌検診学会では、「乳がん検診はワクチン接種前に施行するか、2回目ワクチン接種後少なくとも6～10週間の間隔をおいてから施行する」ことを推奨しています。

一方、受診先延ばしによる早期発見の遅れも危惧されており、当クリニックとしましては、希望がございましたら上記の期間内でも検査を行います。

尚、検査の際には、ワクチンの接種履歴、接種部位（右腕、左腕）の確認をさせていただきます。結果の判定の参考にさせていただきます。

本件のお問合せ先

施設検診部 TEL : 03-3213-0099

一般財団法人日本がん知識普及協会
附属 有楽町電気ビルクリニック
代表理事 小澁 陽司